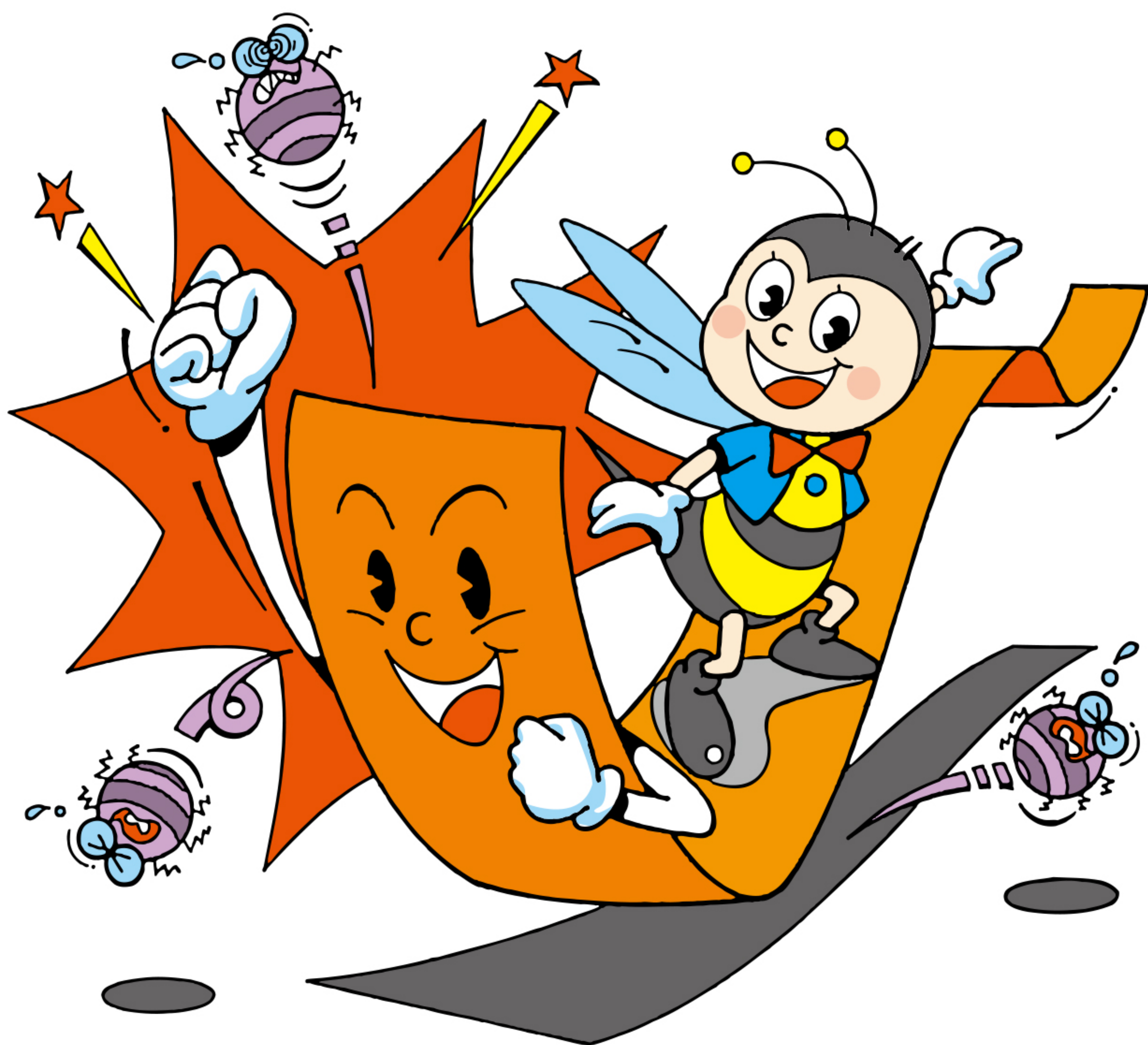


蜜蜂寄生ダニ(ミツバチヘギイタダニ)駆除剤

動物用医薬品

日農 **アピスタン**®



アピスタンは従来のダニ駆除の問題点を解消した製剤です。

ダニ駆除効果が
十分でない。

6週間の連続
使用により、
優れた効果を
示します。

処理が面倒で
時間がかかる。

シートを吊るす
だけの簡単・
短時間処理
です。

蜂への影響が心配だ。

蒸発しないので
ハチにもヒトにも
安全性が高い
製剤です。

販売代理店

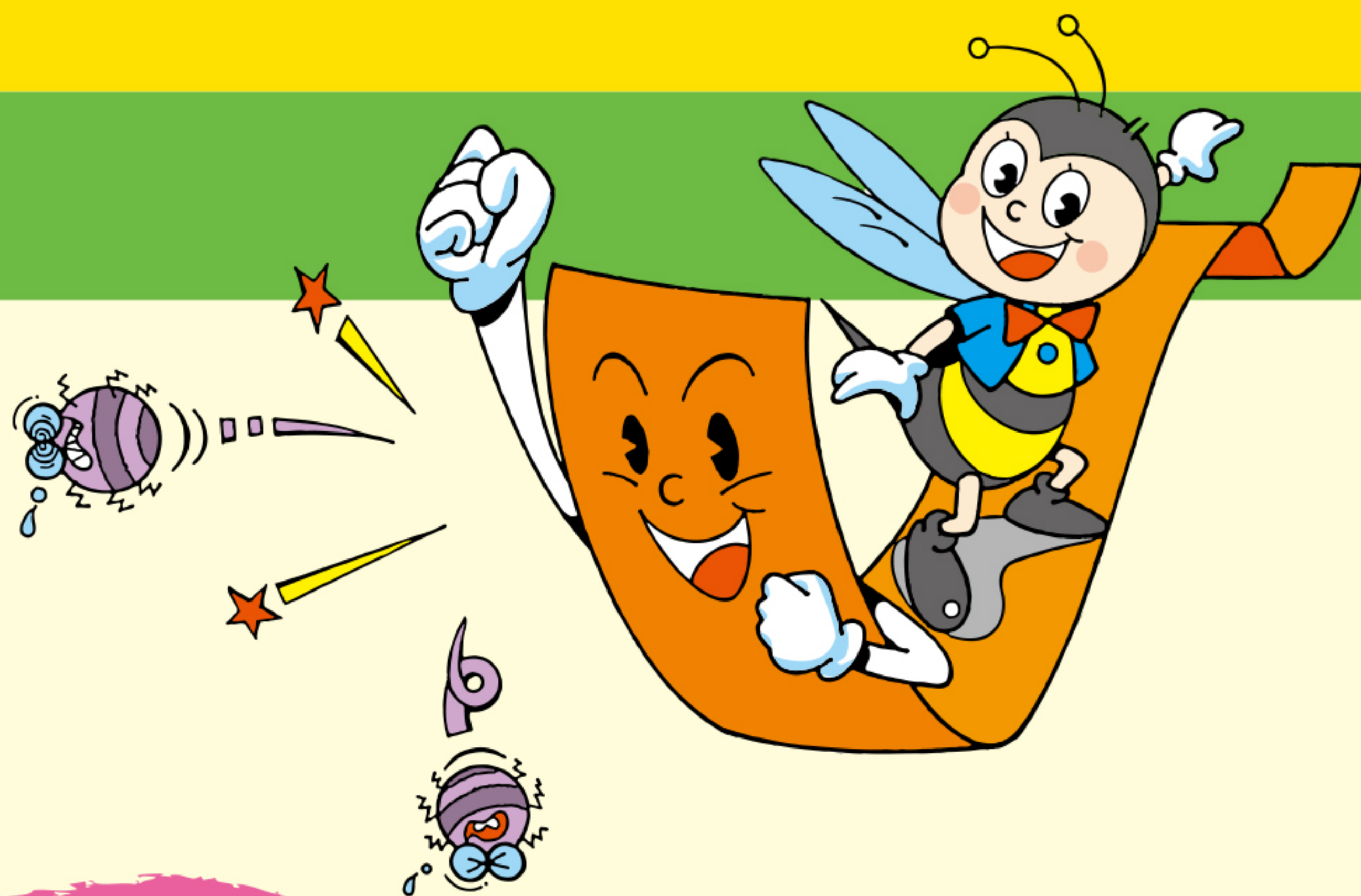
〇〇 **サンケミコア** 株式会社

落合事業所 〒989-3212
宮城県仙台市青葉区芋沢字大竹新田8-1
☎022-394-3031

製造販売元

 **株式会社アグリマート**

〒104 - 0031 東京都中央区京橋3丁目12番地2号
mail: agm-info@agrimart.co.jp



楽々作業

作業は簡単、「日農**アピスタン**®」を巣板の間に吊るすだけです。巣板に掛けて6週間以内を目安に使用してください。



高い安全性

—ミツバチに対して—

働き蜂にも女王蜂の産卵にも影響を与えません。塩ビ樹脂のシートから徐々に薬剤が滲み出す剤型により、ハチには安全性が高く、しかもダニには有効な量が作用します。

—ヒトに対して—

有効成分は蒸発しないので、誤用の危険性が低く、操作が簡単です。

優れた効果

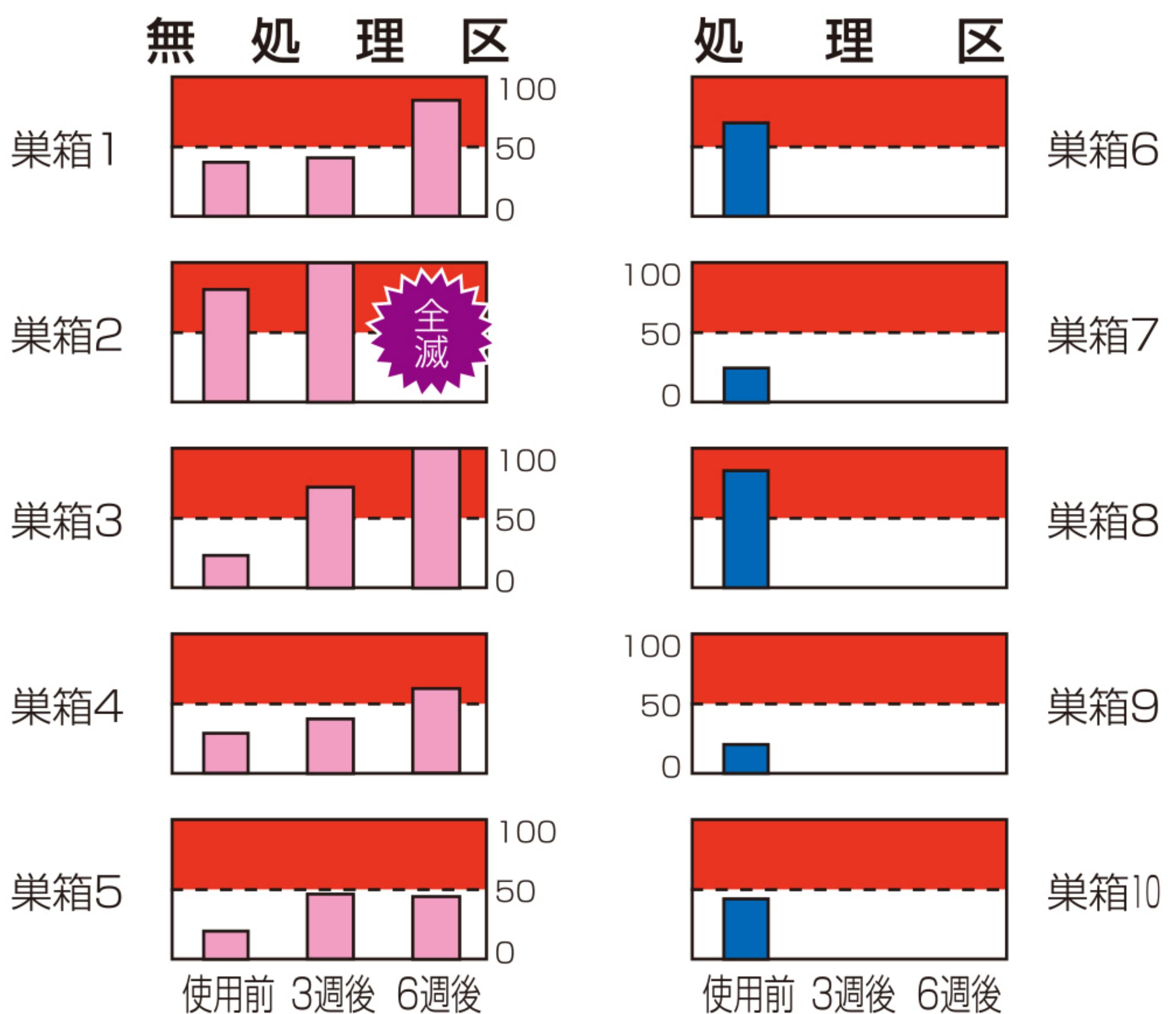
ミツバチがアピスタンシートに触れると、シート表面の有効成分がミツバチに付き、このミツバチどうしが触れあうことにより、有効成分が巣箱全体に広がり、ダニに作用します。



6週間にわたる持続的な作用で、巣房の中のダニも駆除できるのが、「日農**アピスタン**®」です。

下のグラフは、各群50g(約500匹)の働き蜂中のダニ寄生数を示したものです。(1990年実施、G養蜂場)

〈アピスタン処理による寄生ダニ数の推移〉



(全滅：寄生ダニによりハチが全滅したので採材できなかった。)

日農 **アピスタン**®

今すぐ駆除

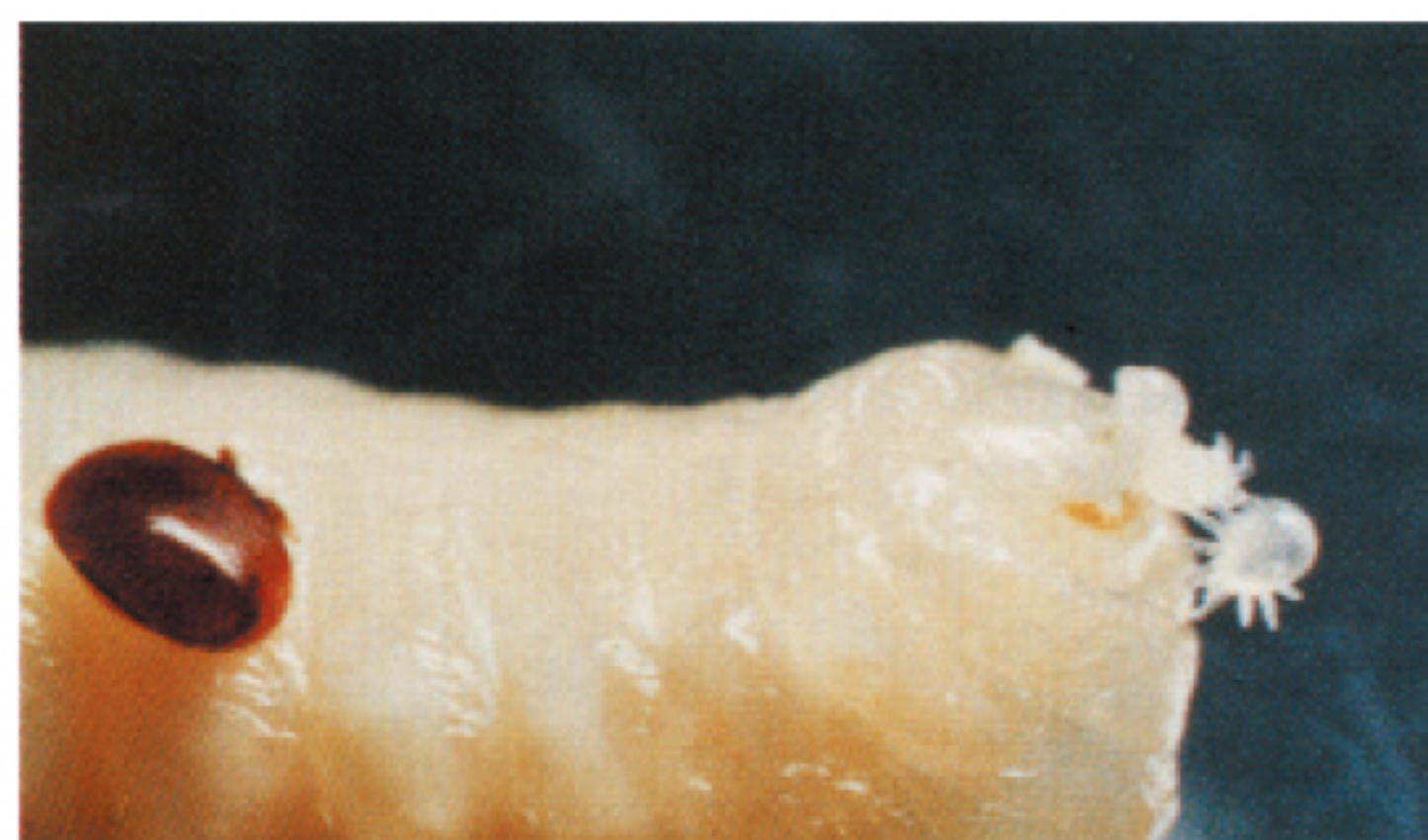
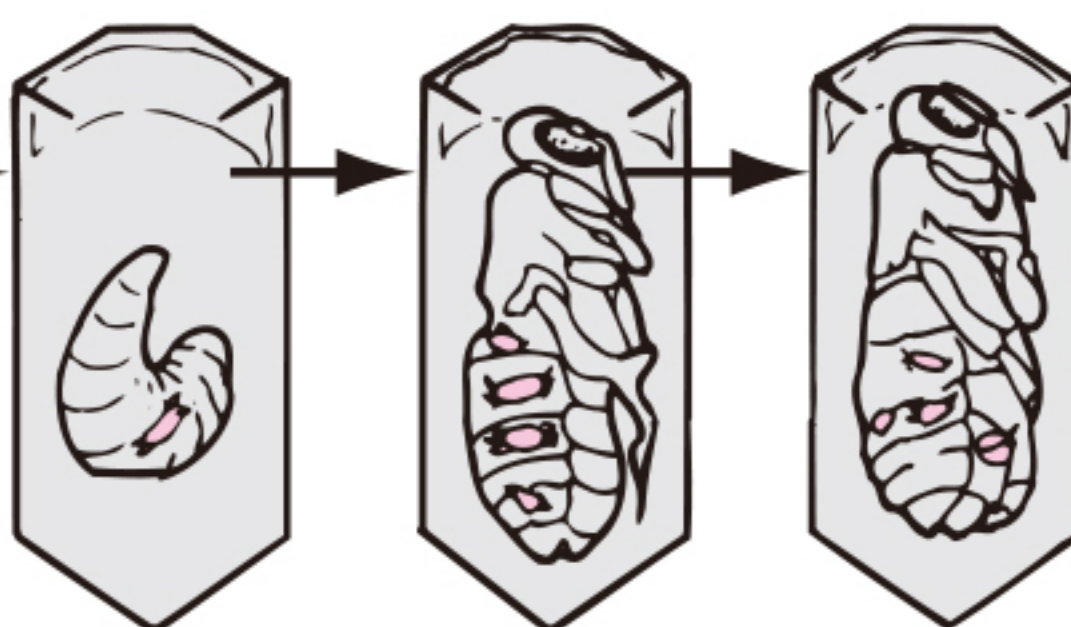
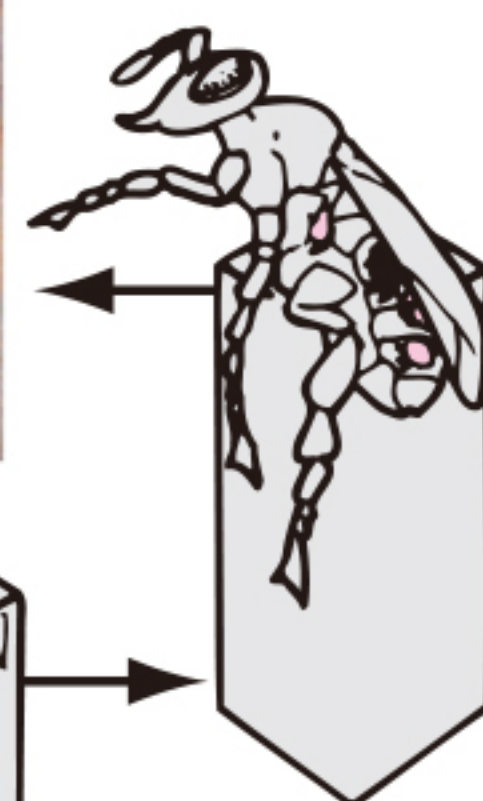
ダニ駆除で重要なポイントは一度に蜂場全体の処理を行うことです。部分的なダニ駆除では、未処理の巣箱から再びダニが侵入してしまいます。操作の簡単な「日農 **アピスタン**®」なら一度に何箱も処理できます。ダニを見つけたら採蜜活動に合わせてすぐにアピスタンでダニ駆除を！

例えば

- 流蜜期前に十分な蜂群を確保する為に春先に…
- 1つの流蜜期を終え次の花の採蜜に入る前に…
- もちろん、越冬前の秋期にも…

ここが重要！

- 問題のミツバチヘギタダニの増殖は蜂児のいる巣房の中で行われます。
- 巣房内に侵入したメスダニは蓋がされた後、卵を生みます。成長した若ダニ同士で交尾を終えて、若バチとともに出房します。
- この寄生の環の繰り返しでダニは増殖するのです。
- 従来の方では薬剤が巣房の中のダニには作用できず、十分な効果が得られなかったのです。
- 「日農 **アピスタン**®」は6週間の連続使用でダニ寄生の環を断ち切ることが出来ます。



使用上の注意

【 一般的注意 】

- (1) 本剤は効能・効果において定められた目的にのみ使用すること。
- (2) 本剤は定められた用法・用量を厳守すること。
- (3) 本剤は「使用基準」の定めるところにより使用すること。
- (4) 本剤は6週間以上の連続使用を避けること。
- (5) 本剤を使用した蜂群のローヤルゼリー、プロポリス並びに蜂体は食用に使用してはならない。

【 使用者に対する注意 】

- (1) 本剤に直接手で触れないこと。
- (2) 使用後は手を洗うこと。又、皮膚に付着した場合は直ちに石鹸等で良く洗うこと。
- (3) 本剤を口の中に入れないよう、乳幼児には特に注意すること。
誤ってシートを口の中に入れた場合は、直ちに医師の診察を受けること。

※本剤はフルバリネートを10%含有する塩化ビニル樹脂製剤です。有効成分の化学構造上、劇薬に分類されていますので、取扱いに注意してください。

※万一のアレルギー反応を考えて、手袋着用での処理をお願い致します。

【 ミツバチに対する注意 】

- (1) 制限事項
本剤の使用前に蜂群の健康状態について検査し、異常を認めた場合は使用しないこと。
- (2) 副作用
副作用が認められた場合には、速やかに獣医師の診察を受けること。

【 取扱い上の注意 】

- (1) 使用済みの容器は、地方公共団体条例等に従い処分すること。
- (2) 使用済みのシートは巣板よりはずし、環境や水系を汚染しないように注意し、地方公共団体条例等に従い処分すること。

【 保管上の注意 】

- (1) 使用後、残ったシートは必ず容器に入れ、封をして冷暗所に保管すること。
- (2) 食品・食器・飼料などと区別し、小児の手の届かないところに保管すること。
- (3) 本剤の保管は直射日光、高温及び多湿を避け冷暗所に保管すること。
- (4) 開封後放置せず、速やかに封をすること。

注 意：本剤は薬機法第83条の4の規定に基づき前記の用法及び用量を含めて使用者が厳守すべき基準が定められた動物用医薬品ですので、ミツバチについて前記の用法及び用量並びに次の使用禁止期間を厳守してください。

ミツバチ：食用に供するはちみつ及びその他の生産物を生産している期間

用法及び用量

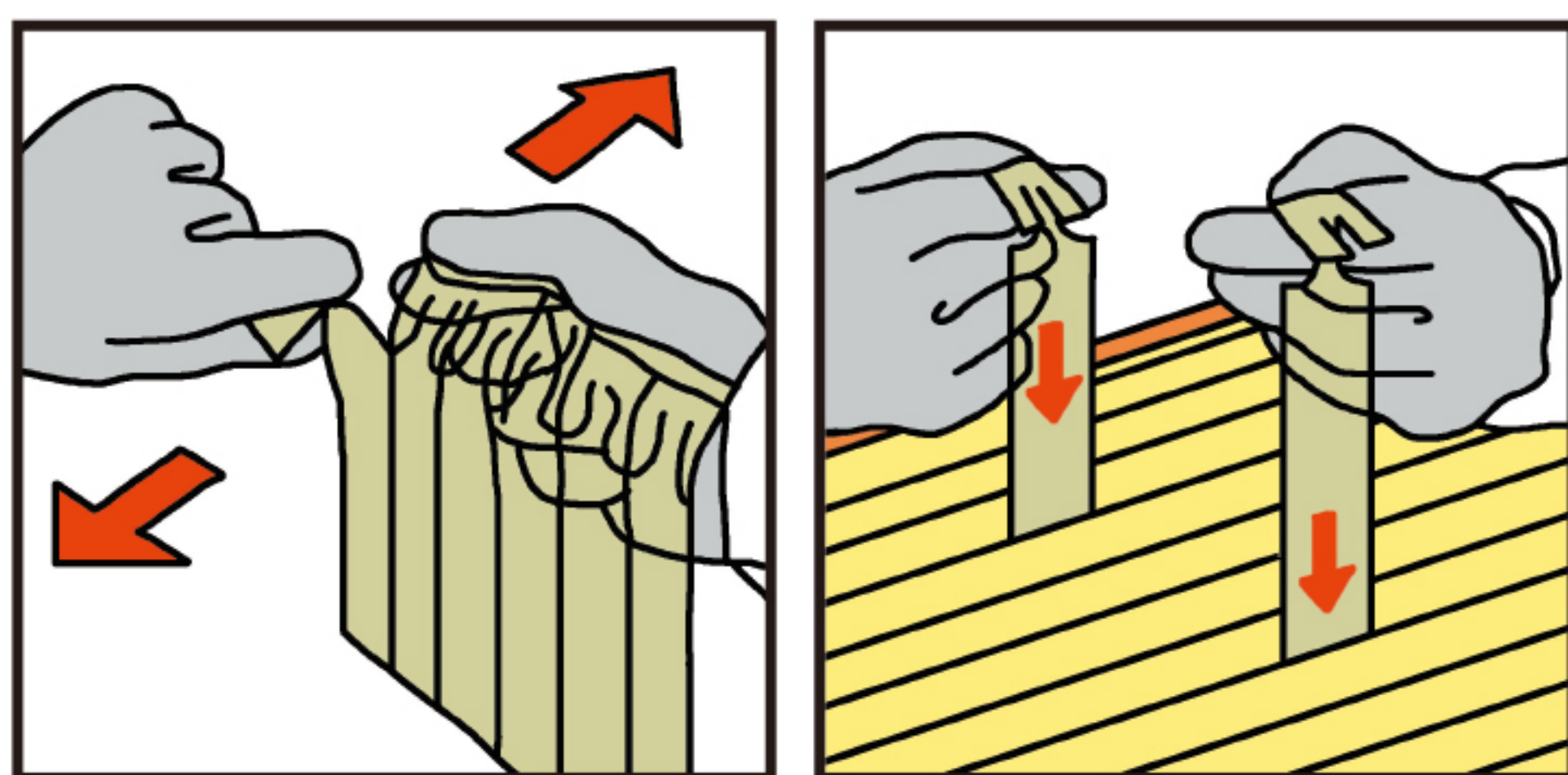


1 本剤は採蜜期及びローヤルゼリーの採取期以外のミツバチの巣箱に対して使用する。

試験結果よりハチミツへの残留は検出限界以下でしたが、安全を見越して採蜜期には使用しないでください。

2 標準巣箱あたり2枚（巣板4～5枚に1枚）の日農アピスタンを巣板の中央付近に懸垂する。巣板の3・4の間に1枚目、7・8の間に2枚目を各々懸垂する。

数々の試験結果よりこの方法が効率良く駆除できることがわかりました。



3 最初の採蜜に先立って早春期や最終採蜜後の秋期に施用するのが効果的である。

蜂群を大切にする経営上手な養蜂家は、秋期の越冬準備以外にもダニ駆除を実施しています。

春先の流蜜期に向けて蜂群を拡大する時、夏の花ミツが切れた時、また採蜜活動の合間にも手軽に活用できます。

4 使用期間は6週間以内とする。

ミツバチの産卵から出房までに約21日。有蓋蜂児の寄生ダニを駆除するためには、連続使用で出房後にも作用させる必要があります。日農アピスタンの6週間の連続使用なら寄生の環を切ることが出来るのです。

6週間以上の使用は耐性のダニを出現させるおそれがあります。巣箱内に放置しないでください。

尚、使用済のシートの再利用はその効果を保証出来ません。



ミツバチヘギイタダニ

